三重県議会議員
いしがき　ともや
石垣 智矢
県政活動報告

TOMO-NO-WA
智の輪
～ 地域の輪が次の時代を創る ～

Vol.8　2025年（令和7年）　春号

編集・発行責任者 / 石垣智矢　住所 / 三重県員弁郡東員町北大社801
TEL・FAX / 0594-41-2477　E-mail / toinman1105@gmail.com





三重県議会本会議にて、政策企画雇用経済観光常任委員長の立場から要望しました！！



令和7年4月策定の三重県人材確保対策推進方針案について

人材確保対策の推進については、単にこれまでの延長ではなく、産学官や全庁を挙げて行った議論も含めて、集中的に取り組む必要があります。

待機児童の解消をはじめ、子どもを産み育てながら働き続けることができる環境整備、人材の流出を防ぎ県内定着を図る取り組み、厳しい業界の声を踏まえた対応、スポットワークの活用を含め、働き手に選択される働きやすい環境づくり、企業が求める人材の育成などの取り組みを進める必要があります。

また、三重県庁の若手職員の離職が多くなっており、県政運営の資本となる職員が働き続けたいと思える環境整備にも取り組まなければなりません。

県当局には、これら様々な課題の対応について国において対応すべき事項は強く要望していただき、しっかりと取り組みを進められることを要望します。

「ゼロエミッションみえ」プロジェクトについて

カーボンニュートラルの実現に向けた取組を、産業・経済の発展につなげることを目的とした「ゼロエミッションみえ」プロジェクトに全庁を挙げて取り組まれています。

今般、県内施設や県未利用地の太陽光発電設備の導入可能性調査が行われ、既存施設においては、構造上、設置に適さない施設もあることなどが判明したところです。

一方、新たに設置する施設に関しては、設計の段階から太陽光発電設備の導入を検討いただくことが可能です。

「ゼロエミッションみえ」プロジェクトの推進にあたっては、こうした取り組みも含め、全庁を挙げた施策の舵取りを行うことが重要であり、各部局において積極的に施策が推進されるよう、政策的な総合調整を図っていただくことを要望します。

予算決算常任委員会 総括的質疑に登壇!!

1、保育所等における待機児童について

問　本県の保育所等における待機児童数は、令和5年度で108人と前年度の103人を上回る数字となっています。特に保育士の配置基準が高い低年齢児(0歳～2歳)は、保育士確保ができず受入体制が整わないという状況です。児童福祉法第24条において、保育所における保育は市町が実施するとなっていますが、市町単独での保育士確保はどこも厳しい現状があり、県が市町と連携し、子どもの健全で適切な保育提供が必要だと考えます。待機児童解消に向けた県の取り組みを伺います。

答　**子ども・福祉部長**

本県でも待機児童が解消できない要因は保育士不足にあると考えており、新たな保育士確保対策を三つの柱で取り組みます。1つ目は新たな人材確保、2つ目は現職保育士の離職防止、3つ目は潜在保育士の復職支援です。新たな人材確保では、保育士を目指す学生さんへの就学資金の貸付等を行ったり、現職保育士の離職防止対策では、負担軽減のためのICTの導入や保育支援員の配置補助を行っています。また令和6年度からは、保育支援アドバイザーを派遣して相談対応などに取り組んでいます。潜在保育士の復職支援では、三重県保育士・保育所支援センターにて潜在保育士対象の就労支援を行うことで職場復帰を促進しています。令和7年度は、保育実習生への保育所就労のための新たな研修制度を重点事業として取り組む方針です。

問　三重県では保育士確保対策を進めるために三重県保育士・保育所支援センターにおいて、保育士として働きたい方の就職支援や潜在保育士の再就職支援等を行っています。支援センターの更なる充実を要望するとともに、待機児童が発生している市町を優先的に、保育士派遣ができるような支援体制を構築してはどうか。

答　**子ども・福祉部長**

求職者の意向が最優先ではありますが、エリア指定等がなければ、待機児童が発生している市町を幅広く紹介していきたいと考えています。待機児童解消に向けて県の役割を果たしていきます。

問　本県では、保育支援者が保育士の周辺業務を行うことで負担軽減をはかる保育体制強化事業と保育支援者として働きながら保育士資格取得までを支援する保育補助者雇上強化事業の2つに力を入れていますが、交付実績を見るとまだまだ活用いただけていないのが現状です。より多くの市町で活用いただくために、県の取り組みについて伺います。

答　**子ども・福祉部長**

2つの支援事業をより多くの市町で活用いただくために、制度改正も視野に入れて検討を進めています。

保育補助者雇上事業は、当該年度中に試験を受けることが対象の要件でしたが、人数を制限していたため、当該年度中に限らず試験を受ける意思があれば対象となるように検討したいと考えています。

また在学中の学生や潜在保育士も対象となるよう検討を進め、より多くの市町で活用いただけるように取り組みを進めていきます。

2、コンテンツ産業を観光産業に活かす取り組みについて

問　アニメ、音楽、映画、ゲーム、マンガなどのコンテンツ産業は、我が国の誇るべき財産であり、令和6年6月に知的財産戦略本部にて決定された「知的財産推進計画2024」および「新たなクールジャパン戦略」において、我が国としてコンテンツ産業を基幹産業と位置付け、戦略的に取り組むこととされました。国の令和6年度骨太方針における「コンテンツ産業活性化戦略」でも、地方のロケ地誘致やイベント開催は、海外からの観光需要の創出および地方の取り組みの後押しになると記されており、裾野の広いコンテンツ産業を地方から取り組むことが、インバウンド需要にも大きく影響を与えると考えます。令和7年度の観光政策から見るコンテンツ産業の取り組みについて伺います。

答　**観光部長**

コンテンツ産業の取り組みは、映画やテレビドラマの撮影地ロケに関して各地域のフィルムコミッションの皆さまと連携し、ロケ地マップの作成や三重テラスでのパネル展、特設サイトの開設など、県内への誘客周遊の促進を図ってきたところです。　また、海外放映されたドラマ等のロケ地情報を海外向けに発信し、インバウンド誘客にも繋げています。他にも三重の応援ポケモン「ミジュマル」を活用したスタンプラリーを行うなど、三重ファン獲得に向けた取り組みを行っており、今後も様々なコンテンツを活用して観光誘客に繋げていきます。

三重県人材確保対策推進方針が策定されます!!

人口減少の進展に伴い、生産年齢人口が大きく減少していく見通しのなか、本県においても約5割の企業で人員が不足し、特に建設業や運輸業、医療、福祉等では人材確保が喫緊の課題となっています。

ジェンダーギャップの解消や県内企業と若者とのマッチング促進、地域人材から選ばれる職場環境づくりなど、業種特有の課題も踏まえ、産学官がそれぞれ取り組む中期的な指針として策定を進めています。



常任委員会で審議をする様子

最近の主な議員活動一覧（抜粋）

11月

11月2日 東員町自治会ふれあい交流会
11月5日6日 沖縄三重の塔戦没者慰霊式に参列（沖縄県）
11月12日 東海環状自動車道建設促進協議会による岐阜県要望
11月15日 三重県町村議長会との意見交換会
11月18～19日 三重県議会政策企画雇用経済観光常任委員会県外調査
11月25日 自民党青年局東海ブロック会議（岐阜県）
11月27日 三重県土地改良事業団体連合会桑名支部との意見交換会

12月

12月1日 伊賀市上野東部自治協議会と自民党青年局活動
12月2～5日 三重県議会本会議一般質問、全協、予決委員会
12月6日 予算決算常任委員会総括的質疑で登壇！！
12月9・11日 政策企画雇用経済観光常任委員会・分科会
12月18日 東海環状自動車道建設促進協議会による三重県要望
12月17・19日 三重県議会予決採決、本会議採決、閉会
12月26日 10団体・期成同盟会による要望聴取会

1月

1月5日 東員町消防団出初式
1月12日 令和7年度東員町二十歳を祝う会
1月17日 東員町商工会新春のつどい
1月18日 いなべ市消防団出初式ならびに意見交換会
1月20日 三重県議会令和7年定例会開会

2月

2月2日 自民党北勢地区町議会議員連絡協議会に出席
2月16日 第18回美し国三重市町対抗駅伝を現地応援
2月17・18日 三重県議会本会議、議案上程、全協、聴取会
2月19日 農水省および子ども家庭庁等でのヒアリング勉強会
2月21日 自民党青年局異業種交流会を開催（名張市）
2月27日 三重県議会本会議一般質問に登壇！！
2月25日～3月4日 三重県議会代表質問、議案質疑、一般質問

3月

3月1日 三重県立いなべ総合学園高等学校卒業式に出席
3月6日 三重県議会本会議関連質問に登壇！！
3月8日 自民党青年局全国大会ならびに全国青年局長会議に出席
3月9日 第92回自民党大会に出席
3月10・11日 政策企画雇用経済観光常任委員会・分科会
3月16日 員弁川用水第二土地改良区総代会に出席
3月18・21日 三重県議会予決採決、本会議採決
3月23日 大阪・関西万博完成披露会に出席（大阪府）
3月26日 全国自治体議会改革推進シンポジウム（四日市）
3月29日 東海環状自動車道いなべIC開通式
3月31日 三重県議会本会議、議案上程、審議、採決

沖縄県平和祈念公園にある「三重の塔」にて、令和6年度戦没者慰霊式が執り行われました

「三重の塔」は、三重県が設置・管理する三重県出身の戦没者約53,000人を祀る慰霊塔です。遺族の方々や関係者の方など80名ほどが参列し、戦没者に対し哀悼の誠を捧げました。いなべ市・東員町からも多くのご遺族の方々にご参加いただきました。三重県では、戦後80年となる令和７年度に向けて「三重の塔」の環境整備を行っています。工作物の撤去やバリアフリー化など、遺族の方を含めて誰もが利用しやすい環境整備に取り組みます。



一見知事に令和8年度開催予定の第78回関西茶業振興大会に関する要望を行いました

本県は、全国第3位のお茶の生産量を誇り、県内の各地域で特色ある緑茶が生産されています。しかし、近年の茶業を取り巻く環境は厳しさを増していることから、この大会を契機とし、「伊勢茶」のブランド力強化や技術指導支援などについてお茶の文化振興議員連盟の立場から要望致しました。



令和7年度県政運営に関する知事への提言を行いました！！

自民党会派（自民系会派を含む）から一見知事に対し、夏の各種団体からの要望聞き取りや自民党会派の政策など、24重点項目136政策にまとめて提言致しました。



県内の道路整備や河川に関する9つの期成同盟会より、緊急要望をいただきました！

北勢・中勢バイパスや出雲川治水など、地域住民の安心安全に繋がる事業を、首長の皆さまと力を合わせて頑張ってまいります。



農林水産大臣政務官である山本さちこ参議院議員のお計らいにより、各省庁との勉強会へ！

農水省「農作物の輸出促進」、こども家庭庁および文科省「放課後児童クラブ（学童保育）や地域学校協働活動の国の考え方」についてレクチャーいただきました。
山崎県議を含めて県議会議員時代の同期3人が大臣政務官室に集結しました。





東海環状自動車道の早期全線開通に向けて三重県庁・岐阜県庁にて要望活動を！！

岐阜・三重県境間東海環状自動車道建設促進協議会にて、東海環状自動車道の早期全線開通に向けた工事の着実な推進や必要な事業費の確保など、国への強力な働きかけをお願いしました。





一般国道421号大安ICアクセス道路が全線開通しました！

令和6年12月25日に、員弁川を渡河する一般国道421号大安ICアクセス道路が新設され、高速道路へのアクセス向上や周辺道路の渋滞緩和に期待が寄せられています。

しかし、わずか10日間で事故が立て続けに４件発生したことから、三重県および三重県警察本部に即時対応を要望し、安全対策を行いました。引き続き、更なる安全対策ならびにより良い県道整備に取り組みます。



サッカーヴィアティン三重のキックオフパーティーに出席！

東員町を本拠地とし、三重県北部をホームタウンとするサッカーヴィアティン三重のキックオフパーティーに出席しました。三重県初のＪリーグチーム誕生に向けて、今年も全力で応援します！



子育て応援サークル「きっず～な」「OHANA」共催の節分行事に参加！

親子の居場所づくりに奮闘される2つのサークルによる節分行事に青鬼役として参加。子どもを取り巻く環境が様変わりする現代社会において、地域の見守りの中でスクスクと育つ「子ども・子育て支援」に今後も力を注いでまいります。



三重県町村議会議長会の皆さまとの意見交換会

県内の町議会議長の皆さまと、各町の抱える政策課題を取りまとめた国・県に対する要望書をもとに、常任委員長の立場から意見交換をさせていただきました。

今後もその実現を図るために邁進してまいります。



大阪ベトナム社会主義共和国総領事館にて、総領事を訪問！

三重県議会議員有志にて大阪ベトナム社会主義共和国総領事館を訪問し、ゴー・チン・ハー総領事と日本とベトナムの経済発展・人材協力支援について連携を図りました。



政策企画雇用経済観光常任委員会による県外調査

【大阪府】

◆2025年日本国際博覧会協会にて「大阪・関西万博の進捗状況と機運醸成について」

大阪・関西万博は、来場予定者数2820万人、経済波及効果が約2兆円の一大プロジェクトです。心配されていた工事も予定通り進み、ボランティアスタッフも予想を遥かに超える応募総数となっています。出店する三重県ブースによって、国内外問わず、三重の認知度向上および観光誘客に繋げていきます。





大阪府咲洲庁舎から見た博覧会場

【京都府】

◆京都府議会にて「京都ゼロカーボン・フレームワークの取り組みについて」

三重県では、2050年までに県域からの温室効果ガス排出ゼロを目指して取り組みが進められていますが、京都府では地域金融機関と連携し、排出量削減目標の達成割合によって金利優遇を受けられる中小企業支援「京都ゼロカーボン・フレームワーク」の新たな取り組みにより、カーボンニュートラルの実現を目指しています。

【滋賀県】

◆滋賀県庁にて「新産業創出に向けた産業振興について」

中小企業や小規模事業者の新技術や新商品開発支援として「プロジェクトチャレンジ支援事業」に取り組まれており、5年間での事業化率（商品販売件数）43%と高い結果に結びつけています。

また滋賀県工業技術センターの統合整備は、PFI方式でパートナーシップ型の新たな形で駅前へ移転することから、統合予定の三重県工業研究所の基本計画においても重要な現地調査となりました。



ごあいさつ

木々の緑が若草色に色づく、暖かな季節となりました。

あらためてお支えいただく地域の皆さまに感謝申し上げるとともに、今後も地域の声を県政に届け、三重県の更なる発展ならびに地域の発展に繋げてまいります。

さて、いよいよ東海環状自動車道いなべIC～大安ICが３月２９日に開通となります。いなべICが開通することにより、名古屋・関西方面へのアクセス時間が大幅に短縮されることやいなべ市周辺の一般道路の渋滞緩和などにも繋がることから、地域活性化に資する道路として期待されています。いなべICから岐阜方面は、トンネル工事が難航し開通時期が不透明となっていますが、1日も早く全線開通となるよう国に対しても積極的に要望していきます。

また、南海トラフ巨大地震が30年以内に発生する確率が、80%に引き上げられました。本県にとって極めて重要な警鐘であるため、地震対策をより一層強化するとともに、皆さま方には、あらためて備蓄品等の見直しや買い替えなど、日頃からの備えを今一度ご確認いただきますよう宜しくお願い致します。

最後に、皆さまにとって新年度のスタートが実り大きものになりますことと、皆さまのご健康・ご多幸を心よりお祈り致します。引き続きのご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

石垣　智矢

お気軽にお問い合せ下さい

三重県議会議員 石垣 智矢（ともや）事務所

〒511-0257 三重県員弁郡東員町北大社801番地

TEL/FAX：0594-41-2477　E-mail：toinman1105@gmail.com

ホームページ　Facebook　SHIYUANTOMOYA インスタ